

48とおりのゴール

はぐるま

はぐるま

マラソン大会

2月26日

曇りのち冷雨

多摩川の土手を吹く冷たい風とで、体が冷えます
それでも、各々の《目標》
に向って挑みました。

《楽しく歩く

いっしょうけんめい

応援する》



《あきらめないで最後まで走る》



《めざせ！マラソン女王》



《仲間を引っ張ってみんなで走る》



毎日のマラソンの成果
が発揮できたかどうか
は、目標の設定にかか
っています。仲間たち
は《目標》に向って
全力を尽くし、自分と
戦います。

No.86

2015年 3月27日

社会福祉法人
はぐるまの会

広報委員会
後援会

川崎市多摩区菅馬場1-18-17

Tel 044-946-1308

10キロコースの8キロ地点、「もう少し」の声掛けに苦しそうな息の中、最後の力をしぼり出します。言葉が無くても伝わる一瞬です。ゴールの「ヤッター」の達成感は、走りぬいた者しか味わえません。走る事の《目標》は様々ですが、大事なキーワードがあります。
【あきらめない】【みんなで】【楽しく】【めざせ】これらの言葉からは前向きで生きる活力を感じます。目標とは・遠からず・近からず・必ず達成出来る事。職員には仲間の目標がどうしたら達成できるか、最高の環境をつくることが求められます。

仲間が力一杯を発揮できたかどうかは職員の評価になります。

仲間自治会報告

工賃が危ない!! 昨年は前年度比200万円

の売り上げ減少があり、このまま下がり続ける
と現状の工賃が払えなくなるとの決算報告を受
け、「工賃を考える会」(工賃会議)を設定し話
し合いを積んでいます。メンバーは仲間自治会
役員・長原(自治会会長)・石暮(副会長)
山田(書記)・大内・佐藤・飯島と職員は管理者・
責任者が出席し、これまで5回会議を行いました。
仲間にとって工賃は重大案件ですので、様々
な意見が出されます。

第一回

【工賃の現状を把握し、今後について考える】

工賃の残高を確認し、今月は払えるかどうか
を試算した結果、このまま売り上げ減少が続く
と、今月は払えるが、2か月後は払えなくなる
ことが分りました。とにかく売り上げを伸ばす
ことが最優先ですので、各作業所で「即やる」
取り組み取り組みを出しあいました。

① 販売を半日増やす② 小さなお店の売り上げ
を伸ばす。③ 売れる野菜をたくさん作って、

第1・第2でたくさん売る④ 新製品の開発

第二回 【各作業所の売り上げ状況を確認】

小さなお店ができたことで、売り上げは伸び

た。工房の野菜がたくさんできた。天候がよく
販売に行けたので、自主製品の売り上げが伸び
た。全体的に売り上げが伸びたので、今月は工
賃を支払うことができた。(工賃の計算・分配は
仲間が行っています。)

第三回 【工賃規程の見直し】

仲間の労働時間を調べ実態を出しあった。

○午前中は運動の時間があるので1時間

午後は2時間で一日3時間が労働時間

○仲間活動や行事のある時等はほとんど仕事
ができない

○仲間の特性によって時間が違う

第四回 【工賃支払日について】

今まで毎月10日か、第2木曜日とあいまいだ

ったが、毎月第2木曜日とした方が分かりやす

いので、それに決定する。

第五回 【基本給の計算の仕方】

勤続年数(等級)×2000円×20日

であることの確認をする。

Q, 病気やケガで、何カ月も作業所に来ていな

い仲間の工賃はどうするか。

各作業所で考え方がまちまちであることが分
ったので、統一することになった。

【けがや病気で1―2以上欠席が2か月以上続
く場合、2か月目から出勤日数だけ支払う】
ことにしました。

しかしいくつか問題が出てきました

Q, 作業所に来れない時は、工賃がまったく

でないがそれでよいか。

○全くないのはかわいそう。

○来たくても病気で来れないのだから、少し
だけでも出したい。

Q, どのくらいの金額?

○2千円〜6千円が候補で上がるが

○全然来ない人が5千円ももらえる?

休まず来ている人(初任給4千円)より

多くなるの?

様々な意見が出され、仲間たちは頭を抱えて
しまい継続審議となりました。

しかし「労働」や「工賃」について考える

良い機会になっていることは確かです。

今後の課題

仲間の工賃を保障するために何をしなければならぬか、仲間会・職員会共に学習をしていきます。今考えられる課題は・・・

○毎月仲間50人の工賃を支払うためには約50万円必要であり、そのために必要な売り上げは、約160万円である。

現在この売り上げは達成されていません。

○売り上げが少なくても年2回出しているボーナスは出していますが、これからはどのような条件で出すのか。

第1回目の会議で確認された「即やる」行動を開始し、具体的に、「月々の売り上げと仲間の工賃の関係」「売り上げと利益」を検証していきます。



《考え込む仲間たち》

3.11の意味

風化ではなく 日本人の底に霜が下りるように
静かに定着している

東日本大震災！から
4回目の春がきます。

最近「忘れる」「風化する」などと聞かれるようになりましたが、そうではありません。上のコメントはTV特別番組である方の発言ですが、本当にそのように思い引用しました。

青山さんからわかめが届いた時・包装する時・お客さんにお届けする時・いつも産地東北を感じます。

私たちは十三浜（大指）の良質な海産物を家庭にお届けし、販売の拡大をしていく事が、これからもつながっていく道だと思っています。

2013年撮影・女川のきらら
作業所製造「おからかりんとう」いつも店頭に置いてあります。これからも働く仲間たちを応援します。

3月21日 女川駅再開
おめでとう！！



宮城県大指浜 青山さんの船

撮影した日は穏やかで優しい海でした。この海が育むおいしいわかめを皆さんにお届けします。

3・11この日 小さなお店（はぐるまの店舗名）で毎月第2水曜日に定期開催している「小さな感謝祭」ここ中野島から、小さな応援をしたいと思いました。宮城県十三浜の海産物を試食販売し、こんぶのおいしさをアピールしました。生の昆布の調理方法を知らない方が多く、簡単なレシピを教えると喜んでいただき、これからの販売拡大につながると嬉しいですね。



いく人・くる人

お世話になりました

岩田 沢平さん

工房発 送迎を5年間勤務されました。移動の車中、仲間のもめごとにヒヤヒヤしながらの運転ご苦労様でした。登山や仲間活動にも運転手として同行していただき、大変お世話になりました。ありがとうございました。

これからよろしく

成富 由美さん（みんと所属）

2月より週2回、ヘルパーステーションみんとの事務をしている成富由美（なりとみ ゆみ）と申します。前職は保育士として子どもたちと接して参りました。入職してから日々、はぐるまの仲間たちの一生懸命な姿を見て感動し、少しでも力になれたらと思っております。まだまだ不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、頑張つてまいります。よろしくお願い致します。

松岡 直智さん（あおばホーム所属）

初めまして、この度あおばホームに入職いたしました。日曜日はヘルパーとして仲間の余暇活動のヘルプをします。福祉の仕事は全くの未経験で新しいことばかりですが、仲間たちと過ごすなかで、成長していきたいと思えます。これからよろしくお願い致します。

佐藤 俊哉さん（みどりホーム所属）

今年2月から「みどりホーム」で宿直勤務をしています佐藤です。微力ではありますが、仲間たちの自立に少しでも貢献できたならと思います。どうぞよろしくお願い致します。

送迎関係

須藤克己さん（工房発 送迎）

昨年10月より送迎運転手として仲間入りした須藤です。はぐるま工房より徒歩10分程の菅生3丁目に住んでいます。運転歴は35年となり、安全運転を心掛けています。日常で大事にしていることは、「時間を守る」「元気に挨拶をする」という事です。すれ違った時は「おはよう」「お疲れ様」と声を掛けましょうね。

桑原 健一さん（第1作業所発 送迎）

今年の2月より、送迎運転手としてお世話になって、桑原と申します。コンピュータ関係の会社を定年退職しましたが、まだリタイアしたくないとの思いで、はぐるまさんに応募いたしました。よろしくお願い致します。

菅原 和彦さん（第1作業所発 送迎）

昨年の10月から勤務しています。飲み屋からの転職です。三十数年頑張つて続けてきましたが潰れました。コテコテの阪神ファンです。「おやつさん」と呼んでください。

なお運転には自信があります。

※はぐるまの職員は総勢約70人・仲間も新入生が入り50人となります。

今後の5年間は、職員の高齢化と世代交代が進み、多くの定年退職者が出ますので、人材の確保と育成は法人の重要課題となります。仲間たちの年齢幅も広がり、仲間自治会の活動にも変化が出てきます。これらの変化を職員全員が意識し、各自の日々の仕事に取り組んでいきますので、よろしくお願い致します。